

すべての子どもに必要な支援が行き届く未来へ ～受診前から始める切れ目のない支援の輪～

支援が必要な子どもたちに、いち早く適切な支援を届けるために必要なのは――
それは医療による診療でしょうか。
保健・福祉による専門的なサービスでしょうか。
それとも、保育所・幼稚園での工夫や支援の充実でしょうか。

参加費
無料



今回の研修では、診断前支援や医療へのトリアージなど、先進的な取り組みを行っている鹿児島県の事例をご紹介します。

配信期間

令和8年4月6日(月)正午～
令和8年9月30日(水)午後5時

- ・お申込みいただいた方のみ視聴できます。
- ・期間中、何度でも視聴できます。
- ・参加費は無料ですが、視聴にかかる通信料は参加者負担です。

対象

未就学児や保護者への支援に関わる方、
また地域の支援体制や制度づくりに携わる行政職員

- 保健師をはじめとする
各自治体の母子保健・子育て支援担当者
- 医師、心理士などの医療関係者
- 保育所・幼稚園・こども園の職員
- 発達支援事業所や相談支援事業所の職員
など

講演1 (56分)

「地域の中で神経発達症の子どもと家族を 見守り続ける支援体制の在り方」

鹿児島県こども総合療育センター所長 **外岡 資朗** 先生



講演2 (48分)

「他職種連携と支援者への支援の在り方について」

鹿児島県発達障害者支援センター
発達障害者支援アドバイザー **阿久根 剛** 先生



申込方法

視聴ご希望の方は、右のQRコードから専用フォームにて**9月29日(木)**までにお申込み下さい。

※専用フォームからの申込みが難しい方は、メールまたは電話でお申込みください。

HPからもお申込み頂けます⇒

鳥取大学 子どもの心

検索



<お問い合わせ>

鳥取大学医学部附属病院 脳神経小児科 子どもの心の診療拠点病院推進室
電話:0859-38-6775 FAX:0859-38-6776
メール:kokoro@ml.med.tottori-u.ac.jp